



2024年8月29日
株式会社 ZMP

1人のオペレータで10~19台のロボットを遠隔監視 -ROBO-HIの最新動向-

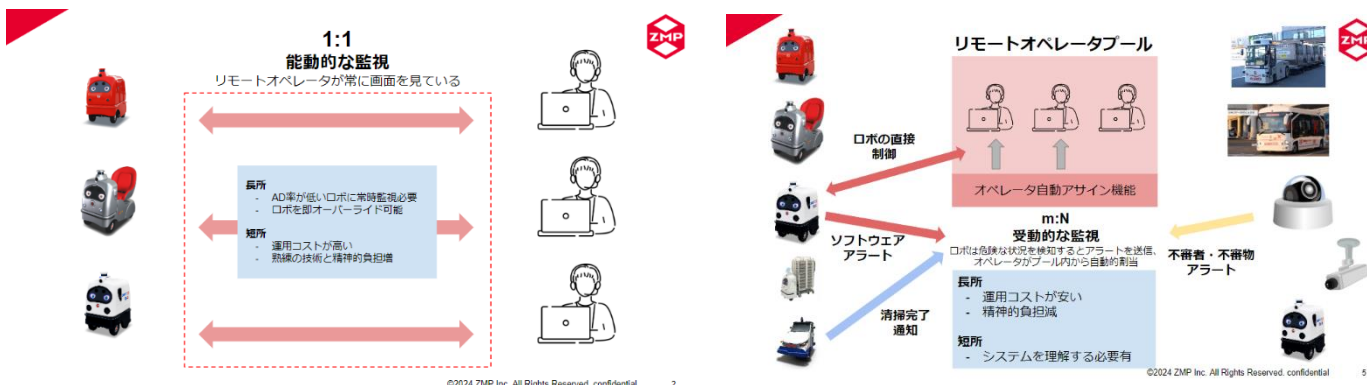
ロボットプラットフォームやロボット開発を幅広く手掛ける株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、「ZMP World 2024」においてマルチロボ OS「ROBO-HI®」(ロボハイ)の“1人のオペレータで10台のロボットを遠隔監視”が可能となる最新技術の開発状況を公開しました。



一般的に、多くの配送ロボットは遠隔地にいる1人のオペレータが1台のロボットを監視・操作しています。当技術はこの現状に対し、さらなるロボット運用の効率化を実現するべく開発を進めています。

ZMPの歩行速ロボットは自律性が高いため、遠隔からの操作を必要とするシーンが少なく、監視が主体であるためオペレータ1人に対して10~19台のロボット運用を実現いたしました

また、当技術の基盤となるマルチロボ OS「ROBO-HI」はあらゆるロボット・モビリティ、IoTデバイス等の遠隔監視・制御が可能で、配送、清掃、移動ロボットやIoTカメラの運用が可能です。



＜従来の人:ロボット対応(左)と新技術によるオペレーション(右) イメージ＞

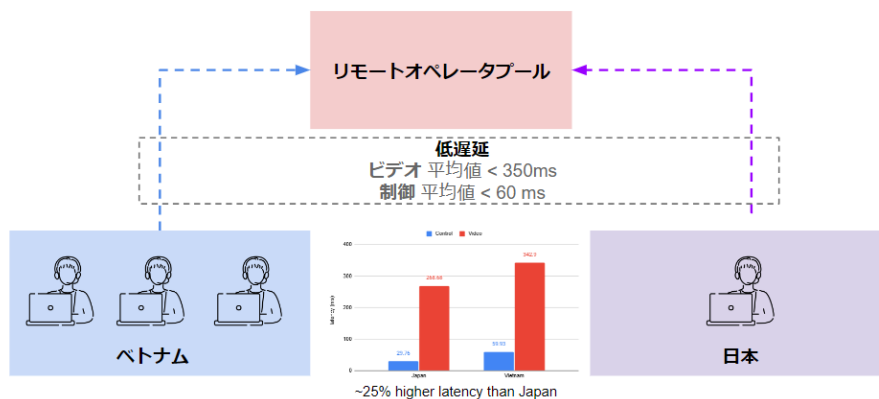
リモート・オペレータは、インターネットのアクセスがあれば世界中どこからでも遠隔監視・操作に参加できる



め、コールセンターのように地方での雇用創出や海外へのアウトソーシングが期待されています。
今回 ZMP ベトナムからの、海外の遠隔地でのデモンストレーションを公開しました。



リモートオペレータはインターネット経由で
場所を選ばずプールに参加可能



<インターネットアクセス環境下ではどこからでもアクセス可能>

注:本件は、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が公募し、2022年6月にZMPが採択された「革新的ロボット研究開発基盤構築事業／自動配送ロボットによる配送サービスの実現」による支援を受けて開発を行っているものです。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 ZMP 広報・ロボプロモーション部

お問い合わせ WEB フォーム

https://www.zmp.co.jp/contact/other_contact

【株式会社 ZMP】

弊社は、『楽しく便利な社会を創る』というミッションのもと、自動運転車両『RoboCar®』シリーズ、生活を豊かにする歩行速ロボ『RakuRo®』、『DeliRo®』、『PATORO®』、それらを管理するロボットプラットフォーム『ROBO-HI®』と自動化のコアエンジン『IZAC®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

本社: 東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル

代表取締役社長: 谷口 恒

HP: <https://www.zmp.co.jp/> Twitter: https://twitter.com/zmp_official